

授業科目 在宅看護学実習

【担当教員名】		対象学年	4	対象学科	看護
杉本 洋、宇田 優子、小山 歌子、 稲垣 千文、小林 房代、磯部 直子		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	90
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	◎	○	◎	◎	
【概要】					
在宅の場における看護活動の実際を学び、在宅看護に必要な知識・技術を修得する。					
【行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 訪問看護の機能・活動の概略を説明できる 地域の特性や生活環境をふまえて、在宅療養者と家族の療養上の課題や問題を抽出できる 抽出した課題や問題に対して、看護計画を立案できる 在宅療養者と家族のQOLを高めるために必要な社会資源について述べるができる 在宅療養者と家族のQOLを高めるために必要な他職種や他機関との連携について述べるができる 在宅ケアの中の在宅看護の役割について述べるができる 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
	訪問看護ステーションなどにおいて訪問看護の機能、活動の概略を理解する 実際の訪問看護に同行し、生活環境をふまえた療養者と家族の課題や健康問題を考察する 療養者と家族の課題や健康問題に対して、訪問看護計画を立案する 在宅療養者のQOLを高めるために行われている保健医療福祉の連携を学ぶ			1, 6 2, 3, 6 2, 3, 4, 6 5, 6	担当：杉本 洋 他 担当：杉本 洋 他 担当：杉本 洋 他 担当：杉本 洋 他
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		Essentials 在宅看護学 第2版	木下由美子	医歯薬出版	2009・3,780円
その他の資料					
【評価方法】			【履修上の留意点】		
実習の取り組み状況 50%程度 実習記録等 50%程度					